

●乳癌診療ガイドラインをひもとく 第3回

転移・再発後の薬物療法

監修：佐伯俊昭先生

埼玉医科大学国際医療センター 乳腺腫瘍科 教授

●転移・再発後の治療目的は、延命と症状緩和

転移・再発乳癌では全身に癌細胞が存在すると考えられ、治療が一時的に奏効しても治癒する可能性は低い。再発乳癌の10年生存率は5%程度と報告されている。そのため、転移・再発乳癌には、延命と症状緩和による生活の質(QOL)の改善・維持を目的に薬物療法が行われる。

薬物療法の開始前に、薬剤の選択のために重要な情報として、女性ホルモン受容体とヒト上皮細胞増殖因子受容体2型(HER2)が乳癌に発現しているかを調べる。ホルモン受容体が陽性の患者で、全身状態がよく、差し迫った生命の危険(広範な肺転移や肝転移、癌性リンパ管症など)がない場合には、まずは内分泌療法から開始する。ホルモン受容体が陰性のときには化学療法を行う。

●閉経前後で異なる再発後の内分泌療法

ホルモン受容体陽性の転移・再発乳癌の内分泌療法では、閉経の有無により選択薬剤が異なる。閉経前の患者の場合には、1次内分泌治療薬としてタモキシフェンなどのタモキシフェン単独、卵巣機能抑制単独、あるいは両者の併用が挙げられるが、これまでのエビデンスからゴセリンやリュープロレリンといった黄体形成ホルモン放出ホルモンアゴニスト(LH-RHアゴニスト)による卵巣機能抑制とタモキシフェンの併用が推奨される。

閉経後の患者では、補助療法でタモキシフェン、トレミ

フェンなどの選択的エストロゲン受容体作動薬(SERM)が使用されていれば、再発後の1次内分泌治療薬として非ステロイド系AI*(アナストロゾール、またはレトロゾール)が推奨され、2次内分泌治療薬としてステロイド系AIのエキシメスタンが勧められる。また、2011年11月から、2次内分泌治療薬として選択的エストロゲン受容体ダウンレギュレーター(SERD)のフルベストラントも推奨されている。治療の選択肢が増えたことは朗報である。

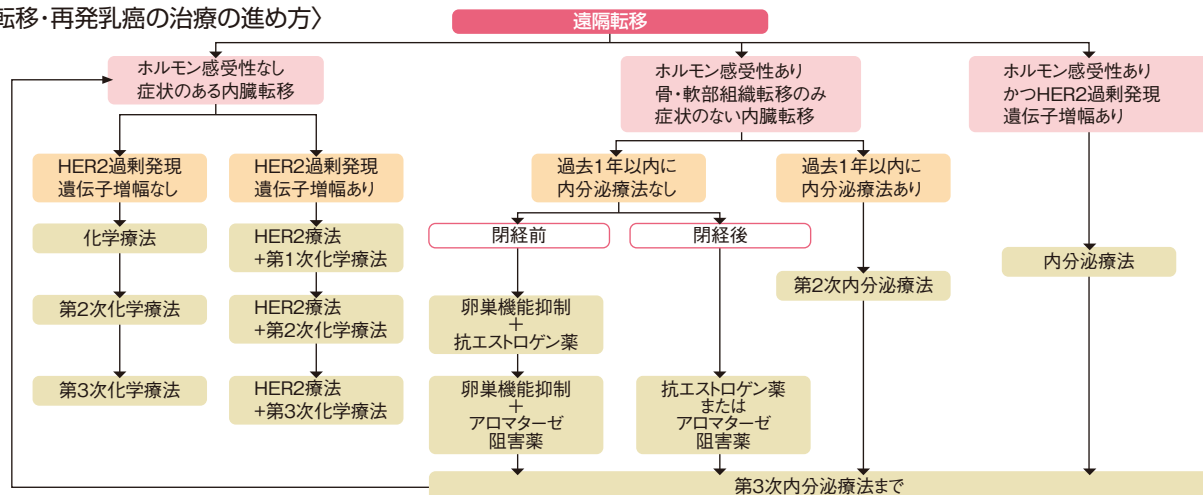
一方、補助療法で非ステロイド系AIが使用されていれば、1次内分泌治療薬としてSERDまたはステロイド系AIが使用される。あるいは、ステロイド系AIが補助療法で使用されていれば、1次内分泌治療薬はSERDまたは非ステロイド系AIであり、SERMは3次内分泌治療薬である。

* AI(aromatase inhibitor; アロマターゼ阻害薬)：閉経後にエストロゲンの分泌能が減少した卵巣に代わって、副腎皮質のアンドロゲンからアロマターゼという酵素によりエストロゲンが合成される。AIはアロマターゼを阻害することにより、エストロゲン合成を抑える。

●内分泌療法が適応とならない場合には化学療法を

転移・再発乳癌でホルモン受容体が陰性の場合、また受容体陽性でも内分泌療法が無効であった場合、あるいは生命を脅かす内臓転移がある場合などには、アンスラサイクリン系薬剤(ドキシソルピシン、エピルピシン)またはタキサン系薬剤(ドセタキセル、パクリタキセル)を含む化学療法を行うことが推奨される。また、HER2が陽性の転移・再発乳癌では、化学療法に加えてトラスツズマブ

〈転移・再発乳癌の治療の進め方〉



を併用することが推奨される。

●骨転移にも薬物療法が有用

乳癌は、骨転移を生じやすい。骨転移例に対しては、骨修飾薬と呼ばれるビスフォスフォネート（パミドロン酸、ゾレドロン酸）、または抗ランクル抗体（デノスマブ）の投与が推奨される。骨修飾薬は、骨関連事象である疼痛や病的骨折などの合併症の頻度を減らしたり、あるいは発生を遅らせたりする。

骨転移に伴う疼痛は癌性疼痛の代表であり、特に転

移・再発乳癌患者を非常に悩ます症状である。癌性疼痛が生じた場合には、疼痛緩和のために鎮痛薬や鎮痛補助薬を積極的に使用する。一般的に軽度の痛みには非ステロイド鎮痛薬やアセトアミノフェンを用いる。中等度から高度の痛みにはオピオイド系鎮痛薬を加えるが、オピオイド使用時は悪心や便秘などの副作用に注意する。鎮痛補助薬には骨修飾薬以外に、抗けいれん薬、抗うつ薬、抗不整脈薬などがあるが、最近承認されたプレガバリンも効果のある薬剤とされている。しかし、骨修飾薬は骨転移に対する適応症があるものの、その他の薬剤は適応症のないことに注意する。



抗乳癌剤

タスオミン錠 10mg

Tasuomin[®] Tab. 10mg

タスオミン錠 20mg

Tasuomin[®] Tab. 20mg

タモキシフェンクエン酸塩錠 【薬価基準収載】

処方せん医薬品^{注1)} 注) 注意—医師等の処方せんにより使用すること

■効能・効果、用法・用量、使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

資料請求先

バイエル薬品株式会社

大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001

<http://www.bayer.co.jp/byl>

